

埼玉トヨペット Green Brave

6月18日(日)

Super
Taikyu

S耐 - 064

2017 RACE REPORT

【#68 埼玉トヨペット GB マーク X】

2017年6月10日(土)・11日(日)

スーパー耐久シリーズ 2017 第3戦 SUZUKA “S耐” サバイバル 鈴鹿サーキット (三重県鈴鹿市)

■マーク X 最高位となる 2 位表彰台を獲得！

前回の SUGO では 7 位と悔しい結果に終わった埼玉トヨペット Green Brave。第 3 戦の舞台は国内屈指のテクニカルコース、鈴鹿サーキット。チームはマーク X に軽さに優れるカーボンドアを装着するなど、さらなるポテンシャルアップを図り、鈴鹿に乗り込んだ。

土曜日の予選は変則ルールで、無条件で決勝に進出できるのは予選上位 6 台。残り 3 台は敗者復活戦の 100 分レースに出場し、2 位以内に入れば決勝進出となる。ドライで行われた予選では、A ドライバーの服部選手が 2 分 18 秒 276 (ST-3 クラス 4 位)、B ドライバーの脇阪選手が 2 分 17 秒 641 (同 4 位) をマーク。合算タイム 4 分 35 秒 917 で予選 5 位につけ、無条件での決勝進出を決めた。C ドライバーの平沼選手も 2 分 20 秒 206 (同 2 位) の好タイム。クルマは改良の効果を発揮しているが、予選中に燃料ポンプの不調によるガス欠症状を発症。メカニックは深夜まで対応に追われた。

決勝日は晴れ。全クラス混走 (計 50 台) で 4 時間のレースを戦う。タイヤの摩耗によるラップタイムの低

下を防ぐため、チームは 3 ストップ作戦を選択。19 番グリッドからスタートした脇阪選手は、オープニングラップで #23 フェアレディ Z を抜いて 4 位を走行。17 周目に他車のアクシデントでセーフティカー (SC) が導入されたため、20 周目に最初のピットインを行う。服部選手に交代し 4 位でコースに復帰。SC は 22 周目に解除され、服部選手は他車のピットインもあり 39 周目にはトップに。52 周目に平沼選手に交代。3 位でコースに復帰した平沼選手は、他クラスのクルマをかき分けながら安定したペースで周回を重ねる。69 周目に再びトップに立ち、72 周目に 3 回目のピットイン。再び脇阪選手にステアリングを託し、2 位でコースに復帰する。脇阪選手は 86 周目に #38 レクサス IS350 に抜かれるが、執念の追い抜きを見せ再び 2 位に。2 台の息詰まる接近戦は終盤まで続いたが、脇阪選手が 2 位の座を守りチェッカー。決勝では心配された燃料ポンプのトラブルはなく、ピット作業もノーミス。メカニックの奮闘があってこそこの 2 位入賞だった。

■VOICE FROM DRIVERS



やっと 2 位を獲得することができました。トラブルを克服して走りきることができ、チーム力を示すことができたと思います。1 位を獲得するのは簡単ではありませんが、クルマも進化しているので大丈夫だと思います。年内に表彰台の真ん中に立てるよう頑張ります。(服部尚貴選手)



直線は IS350の方が速かったのですが、コーナーではこちらの方がコンスタントに走れました。ブロックし過ぎた感もありますが、メカニックの努力を思うと自分も頑張らなければいけないという気持ちになりました。マーク X が戦えるクルマになって良かったです。(脇阪薫一選手)



マーク X 初の 2 位表彰台が獲得できて本当に良かったです。私自身もコンスタントに走れましたが、序盤のセーフティカー導入のタイミングで、うまくピットに入れたので表彰台圏内に入れましたね。何より週末を通してメカニックが本当に頑張ってくれました。(平沼貴之選手)



決勝結果 (ST-3 クラス)
#68 埼玉トヨペット Green Brave マーク X
(服部尚貴/脇阪薫一/平沼貴之)
決勝: 2 位 (98 周、4 時間 00 分 21 秒 938)
予選: 5 位 (19 番グリッドスタート)

ST-3 クラス決勝結果

1 位: DENSO Le Beausset RC350 (レクサス RC350)	99 周
2 位: 埼玉トヨペット Green Brave マーク X (トヨタ マーク X)	98 周
3 位: muta Racing TWS IS350 (レクサス IS350)	98 周
4 位: ADVICS TRACY RC350 (レクサス RC350)	97 周
5 位: SKT team motoyama Z34 (ニッサン フェアレディ Z)	97 周
6 位: 岡部自動車 195MBF ネットワークス Z34 (ニッサン フェアレディ Z)	96 周

天候: 晴れ 路面: ドライ ※トップ 6 まで (9 台中)

順位	車番	チーム	ポイント
1 位	62	Le Beausset Motorsports	48.0
2 位	38	TRACYSports	44.0
3 位	39	TRACYSports	38.0
4 位	68	埼玉トヨペット Green Brave	34.0
5 位	15	OKABE JIDOSHA motorsport	32.0
6 位	34	TECHNO FIRST	29.0



VOICE FROM MECHANIC



タイヤマネジメントと計測器の交換を担当しました。レースに参加したのは初めてです。タイヤの内圧を100分の1まで管理するシビアさと、走行前と走行後の内圧の変化の大きさに驚きましたね。また、自分が整備したクルマが2位を獲得したことにも感動しました。(ふじみ野支店・澤田義弘)

埼玉トヨペット Green Brave PARTNERS 協賛各社



株式会社 FM NACK5



株式会社岡崎巧芸



株式会社カーグラス・JP



埼群スリーボンド株式会社



株式会社テレビ埼玉



株式会社デンソーセールス



東燃ゼネラル石油株式会社 (Mobil)



トヨタ部品埼玉共販株式会社



トヨタホーム東京株式会社



株式会社ハッピーライフ彩生



富士ゼロックス埼玉株式会社



株式会社プロモーション



※50音順

【NEXT RACE】

第4戦 7月15日(土)・7月16日(日) オートポリス (大分県日田市)